## 特別徴収税額通知の電子データ(特別徴収義務者用)の受入方法

特別徴収義務者(給与支払者)用の税額通知の電子データがある場合、以下の操作を行うことで住民税額を社員マスターに反映することができます。 ※操作を行う前に必ずバックアップを実行してください。

【操作】

①「前準備」-「支給日の登録」を起動し、支給日コードを選択して[その他]タブを開きます。

② [住民税6月分] に、「6月分の住民税額を徴収する給与支給回」が正しく設定されているかを確認 します。

🔄 支給日の登録	
ファイル(F) 編集(E) 設定(S) 表示(V) ヘルプ(H)	
図 ◎ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	,
参照 00 正社員	
コード(C) 00 支給日名(N) 正社員	
給与 賞与 その他	
締日等(J): 住民税6月分	
給与締日     31日       締日区分     ○当月締め ●前月締め	

- ③「社員」-「特別徴収」-「特別徴収税額通知受入」を起動します。
- ④ [フォルダの指定] にて、特別徴収税額通知の電子データ(特別徴収義務者用)を格納しているフォ ルダを指定します。
- ⑤ [受入先] として、[6月分・7月分以降] か [1~5月分] を選択し、[実行] をクリックします。

🕹 特別徵収税額通知受入	-		×
ファイル(F) 編集(E) 設定(S) 表示(V) ヘルプ(H)			
◎ 開じる 実行 住民税入力状況 ヘルプ			
受入データ マール グの指定(II) 「・Xileere XDPAXDeckton X税額通知デーク保存先		•	1
フォルタの指定(0) 0.+USETSFICATUESK top+机設通加ノータ床仔儿		É	1
□ サブフォルダを含める			
受入先⑤			
● 6月分・7月分以降   ○ 1~5月分			
🕦 2024年6月~12月分の住民税額を受け入れます。			
詳細設定 ❷ 転送エラーが起きても続行する			
	🛛 実行	🖻 閉じ	3
248文字未満で入力します。フォルダのドロップでパスを自動入力できます。			

⑥ 以下のメッセージが表示されますので、[はい]を選択します。



⑦「受入先社員の確認」画面が起動しますので、[受入元社員]と[受入先社員]を確認します。
 ※受入元(電子データ)と受入先(社員マスター)を比較し、社員コードと氏名の両方が一致する
 社員が見つからない場合、[コードー致]ボタン・[氏名一致]ボタン・手動のいずれかで、受入先
 社員を指定することができます。受入先として正しい社員を指定してください。

; <b>1</b>			受入元	社員					受入先礼	±員	
	社員コー	ド 氏名				社員コード		氏名			
/	01700	納税者	太郎08			01700	3	納税者	太郎08		
1	09623	納税者	太郎09			09623	;	納税者	太郎09		
/	09989	納税者	太郎 0 1			09989	3	納税者	太郎 0 1		
/	15817	納税者	太郎04			15817	3	納税者	太郎04		
/	19327	納税者	太郎05			19327	3	納税者	太郎05		
/	24294	納税者	太郎10			24294	ţ	納税者	太郎10		
/	58998	納税者	太郎02			58998	3	納税者	太郎02		
/	59862	納税者	太郎 0 7			59862	;	納税者	太郎07		
	92668	納税者	太郎06				Ŧ				
0	93102	納税者	太郎03								
土	AESU(A) 社	呈 一 ド、 [ 名 不 一 致 員 コ ー ド 不 -	3 5名一致 一致	受入件数 8件 0件 0件	総件数 8件 1件 1件	<ul> <li>一括設定</li> <li>コードー</li> <li>(1) 受入外</li> </ul>	致( <u>C</u> ) た未該	L E 定の社	氏名一致( <u>N</u> ) 上員を対象(こ	一括設定を	行います。
	社	<u></u> 此同名		0件	11件						

- ⑧ 住民税額の受入を行う社員にチェックが付いていることを確認し、[受入開始]をクリックします。
- ⑨「受入結果の確認」画面が起動しますので、[受入済]タブと[未受入]タブでデータの受入結果を 確認します。

3 📄 ぶ 印刷等	<sup>1</sup> ↓ ℓ <sup>*</sup> 1− 7 ↓ ℓ <sup>*</sup> 1− ∧ ルプ				
そ入済 未受	52				
社員コート	ド氏名	6月分	7月分	8月分	
2/1004	大阪市				II.
01700	納祝者 太郎 0 8	33,427	33,427	33,427	
09623	納税者 太郎09	62,357	62,357	62,357	
09989	納税者 太郎 0 1	8,051	8,051	8,051	
15817	納税者 太郎04	8,831	8,831	8,831	
19327	納税者 太郎05	16,768	16,768	16,768	
24294	納税者 太郎10	98,404	98,404	98,404	

110「社員」-「社員登録」-「社員情報の登録」を起動し、データの受入を行った社員を選択します。

① [住民税] タブを開き、受入先の支給回に住民税額が反映されていることを確認します。

[住民税入力方法] が [通常入力] の場合

鳻 社員情報の登録				
ファイル(F) 編集(E) 設定(S) 表示(V)	ヘルプ(H)			
<ul> <li>図 ◎ ○</li> <li>○ ○</li> <li>○ ●</li> <li>○ ●<!--</td--><td>■ 記 合 前 社員のコピ- 前移</td><td>→ ◆ ▲ 助 次移動 社員削</td><td>除 一覧 へルス</td><td>f</td></li></ul>	■ 記 合 前 社員のコピ- 前移	→ ◆ ▲ 助 次移動 社員削	除 一覧 へルス	f
修正 92667 納税者 太郎06				
個人情報 就労・所属 住所 連絡	各先 所得税・年末調整	2 給与 賞与	単価等 保険	住民税 通勤費
住民税入力設定(J):				
住民税納付先 271004 ミナ	、阪市	追加		
総括表提出先 271004 ミナ	、阪市			
住民税入力方法 🔾 通常入力	○ 詳細入力			
通常入力(D):		a		
月分	住民税			
1~ 5回目 住民税1~5月分	9,326			
6回目 住民税6月分	9,581			
7~13回目 住民税7月分以降	9,581			

[住民税入力方法] が [詳細入力] の場合

2	社員情報0	D登録										
7	アイル(F) 新	編集(E) 設定(	(S) 考	<sup>そ示(V)</sup> へ	ルプ(H)							
閉	× 応 じる 登録		 ● 修正	入力前		:"-	↓ 次移動	) 社員	▶ 日 削除 日	1 (1) 1	プ	
参	照 59862	納税者 太	郎07	,								
f	固人情報:	就労・所属	住所	連絡先	所得税·	·年末調整	給与	賞与	単価等	保険	住民税	通勤費
	住民税入	、力設定(J):										
	住民税約	的付先 271	004	≚ 大阪市	5		追力	0				
	総括表损	昆出先 271	004	≥ 大阪†	5							
	住民税入	、力方法 🗌 🔘	) 通常,	入力 🔾	詳細入力	ļ						
	詳細入ナ	1(X):			-							
	回数	住民税										
	108	34,341										
	20目	34,341										
	308	34,341										
	408	34,341										
	508	34,341										
	608	0	🕕 (E	民祝6月	分							
	7回目	35,253										
	808	35,000										
	908	35,000										
	1008	35,000										
		35,000										
	1208	35,000										
	130											

※ [住民税] タブの [住民税入力方法] が [通常入力] の社員については、「特別徴収税額通知受入」を 実行することで [詳細入力] に変更されることがあります。

(2024年のような定額減税制度が施行されたり、従業員が期限後に確定申告を行ったりして、「7月分以降」の住民税が同額ではない場合)

【注意】

各市区町村から特別徴収税額通知の電子データを受け取るには、地方税の電子申告を行う際に受取方法 として [電子データ]を指定しておく必要があります。

🏐 電子申告データ出力	-		×
送信方法の選択 ● 直接送信 () ファイル出力 出力先フォルダ (C.¥Users¥PCA¥Desktop			×
提出先 eLTAX 会社情報等 税理士等 社員情報			
給与の支払期間 令和 > 5 年 1 月 ~ 12 月			1.1
連絡者: 課 係 氏名 電話番号 受給者総人数 135 給与の支払方法及びその期日: 支払方法 期日 納入書の送付 ● 必要 ○ 不要 特別徴収発録通知の受取方法: 特別徴収発録通者用 ● 電子データ ○ 書面 納税機務者用 ● 電子データ ○ 書面			
文字列変換設定(H) 出力(F5) キャンセル		ルプ(F1)	

## 【参考】

翌年 1~5 月分の住民税額につきましては、年末調整後に「ファイル」--「年次更新」を実行して翌年 データを作成することで、自動的に反映されます。